(日刊) (明治四十一年七月四日 第三種郵便物認可) 明治四十一年七月九日 京城新聞 (木曜日) 第四號 (一)

京城新聞

●蓄音器 各種 蓄音譜 各種 新荷着
東京三光堂 蓄音器韓國總代理店
京城本町 辻屋 本店電 二四八 支店電 三六六

西湖子の歸任

不及生

種々の用件を帶びて殆んど飛脚的に歸東せし西湖子爵には、東都滯在約一ケ月半許りにして此の程歸任せられたり、長亭短驛白砂青松の勝地、或は富士の高根に雛子の濱に悠々洗塵の念なきにあらざるべきも國事に盡粹せらるゝ重任ある身のいかで時節柄とはいひ香氣なる山海の保養に一刻たりとも空しく時を費やさるべき邊々匪躬の大節とやらは殊更らに昨今の暑熱に其の淋漓たる渾身の汗を拭ひてこそ一層目立つなれ冬の日の水バナ垂るゝ寒むき頃はナカ〳〵に事毎の心盡の分けで大した大儀とも見受られぬぞ眞個無上の恨みところ……さはいへ西湖子爵にありては根が正直の質なれば言ふ迄もなく歸東の用件に就ては……但し成否の程は知らざれど……隨分心血を濺かれたることなるべし、拓殖會社創設の腹案、伊桂兩系統の關和其の他韓國施設の方針等思へば其の任務も亦大なるもの、といふべし而して其の一と度歸任し來れる躰軀の汗拭ふ隙もなく匆惶伊藤公の面前に向ひしとき子には果して如何なる報告を陳述せしにや首尾よき結果か但しは又香ばしき成り行きかソレとも又意外の不拗きか飛耳子不敏にして未だ這個の消息を知るに由なきも思ふに子爵の報告たる確かに其の大躰に於て要を得たるものなるべし、ソレはサテ今回母國內閣の變動に就ては言ふ迄もなく多少子爵の意を煩はすものありしならんも兎も角も長き邊にあつて統監の意見を御下問せざれば確定せざる次第從つて統監の歸東は之れ已むを得ざることなれば又々子爵には其の留守中を守らねばならず、暑き炎熱の裡一人で二人前の氣苦勞に時には業を煮やしてウンザリすることもあるなるべし、されど道途の說に依れば統監には今回の歸東を機として長く帝都に留まり中央に於て之が施政の大綱のみを轄ぶるとかの由なるも亦或る一說には桂內閣の成立と共に伊藤統監の退隱を圖り其の后任のお鉢を子爵にまはすべしとか風評するものもあり巷間の蜚語浮說固より信を措くに足らずと雖も、思ふに子爵の胸中這般の消息に對して果して如何の成算ありや否や是れ專ら余輩の知らんと欲する所なり

新刊紹介

●貿易 本號には坪谷善四郎氏の「日本大博覽會と東京の改良」鶴見左右雄氏の「貿易發展の要件」杉浦龍吉氏の「浦港貿易の將來」等讀むべきもの少なからず(第九卷第六號東京々橋區宗十郎町日本貿易協會發行)

●東洋時報 東洋問題の研究に忠實にして熱心なるは本誌の誇りとする所白鳥庫吉氏の「朝鮮の建國に就て」井上雅二氏の「新協約締結後の日韓の關係」等は其の最も異彩とする讀物なり(百十七號東京麴町區內山下町東洋協會發行)

●韓國中央農會報 主要記事としては「勸業模範場報告を讀みて」「韓國の地税」「韓國の產業事業」「韓國僻地の事業に就て」等なり(京城大和町二丁目韓國中央農會發行)

●時代宗敎 號を追ふに從つて益々內容の活動し來るは見るから嬉しとす、論文には小野秀山の「不死の生命」大槻快尊の「釋尊の心理的研究」等載せあるが何れも所說精明考證該博確に再讀の價値あり(四十一號東京麴町區上六番町時代宗敎社發行)

●銃獵界 銃獵の奧義を說き銃獵界の活動を圖る上に於て遺憾なく叙說し紹介せる本誌に如くはなし、世の銃獵家は宜しく本誌に就て學ぶべし(第四卷第六號橫濱市本町金丸銃砲店發行)

●東京經濟雜誌 例に依り重要記事としては十數種を以て飫ふべきも內に在韓邦人の眼を聳たしむるものは大隈伯の「韓國の暴徒並に大博覽會に就て」の一文なりとす(一四四五號東京二橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社)

小說 新不如歸 (四十八)

篠原嶺葉著

百合子が實家から歸つて來た時は、尾花家では今晩餐を始めやうと云ふ時で、姑の奈加子も良人敏男も、食膳の前に坐つて居たので、百合子は豫定の時間より少し遲れて歸つたので、誰か大きな眼を剝出して睨め付けて居るやうに思はるゝので、恐る〳〵其處に坐つて、

「どうも遲くなりまして相濟ませんでございます、嘸御用が多かつたでございませうに、御手傳ひも致しませんで。」

と、氣がひけるので、小さな聲で云つて、憐を乞ふ如き眼色で良人の顏を見た。定めし不機嫌であらうと思ふた奈加子は、意外にも然る氣色もなく

「なに、用向なんか有りや爲ないから、寬り遊んで來ても宜かつたのよ、お實家では皆さんお變りはなくッて。」

百合子は穴の中からでも出たやうな心がするので、ハッと胸を落ちつけて、

「お忙しいであらうに、呼寄せたりなんかして濟まないから、宜しくお詫申して呉れと、宜しう申しましてございます。」

と、すると敏男は、待兼ねたと云ひたげに、

「サア了度今始めやうと云ふ所だ……なに衣物を着換る、衣物なんか後で澤山だよ、早くお出で一緖に食べるのも、モウ二日ばかりだ。」

意外な辭に百合子は、自分の間違ひではあるまいかと思ふまで不意を描きつゝ、

「では、此まゝ頂きませう。」

と、敏男の云ふがまゝに食膳に着いた、其のうれより樂しさうに晩餐を始めたが、其の樂しさうに見ゆるは本の表面のみで、恐く主人敏男のみであらう。

「兄樣お宅に被在して。」

と、敏男は何の氣も注かず懲う尋ねた、が百合子は千斤もある大きな石で胸先を壓へつけられた如く、ハッと驚いて、はいと答へたものであらうか、否と云つたものであらうかと、咄嗟の間に一方ならん苦悶を覺えたが、辛と思案を定めて、

「はい。」

と、答へたが、しかし其調子は何となく勢のない、間の拔けた、そして顋を帶びて居た。敏男は敢て怪しむ樣子もなく、

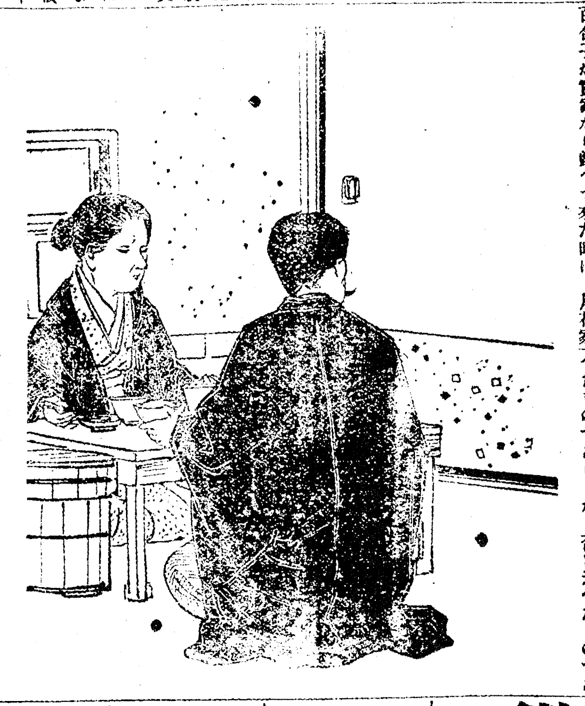
「どうだ、お乳を澤山頂いて來たんだらうね、はゝゝ。」

愉快さうに云つて、自ら高く笑ふのであつた、百合子は奈加子が傍に氣むつかし相な顏をして扣へて居るゆゑ、唯僅に微笑したまでゝ何とも答へなかつた。

やがて晩餐が了ると、

「百合さん、少しお話があるから、此方は下婢に任せて置て直に彼方へ來てお呉れ。」

と云ひ遺して敏男は己が室へと入つた、けれど百合子は有繫に姑の手前に氣が措れて、何くれと其處等あたりを取片付た後、漸く良人の室にと行つた。



▲京城醫師案內▼

入院 隨意 內科 眼科 婦人科 小兒科 吉田病院 南山町三丁目

入院隨意 各科診療 共立病院 京城本町六丁目

京城西小門通り 京城醫院分院 院長 菅恒

黴毒 橫痃 皮下注射療法 包莖 無痛手術 內科 外科 婦人科 眼科 小兒科 京城南大門通一丁目日の出旅館に 戸田病院

新皇城 大漢門前 日韓病院 見習看護婦募集す 希望者は來談あれ

內科 外科 婦人科 入院隨意 京城南山町二丁目 植村病院 (電話三三〇)

入院隨意 京城壽町三丁目(元阪井病院跡) 高井醫院 (電話二一六番) 院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

病室新築入院隨意 內科、小兒科、花柳病 眼科、外科、婦人科 京城壽町三丁目淸水材木店跡 中島醫院 院主 醫學得業士 中島貞信

入院隨意 京城旭町三丁目 十全病院 電話七三七番

入院隨時 內外科 小兒科 產科 花柳病 京城旭町一丁目 安東病院 電話九一三 院長 安東貞一郎

營業目錄

和洋雜貨 文房具 測量製圖器械 洋家具
東京銀座 合名會社 玉屋商店 直輸入品及自製品 韓國特約販賣店
奈良 古梅園製墨 韓國代理店 御賣は便利なる御相談に應ずべし
東洋インキ株式會社特約販賣店
丸善インキ及バラ齒磨粉特約販賣店
專賣特許 東京堀井 鐵毛筆謄寫版韓國一手特約販賣店 日韓貿易株式會社一手代理販賣店
日本政府 煙草特約販賣店
大日本麥酒株式會社專賣店
東京 岩瀨盛春堂製筆韓國特約店
大阪 足立製 不易糊特約販賣店
大阪每日新聞社 大阪朝日新聞社 京仁特約販賣店
東京大阪數十書籍店特約販賣

仁川本町二丁目 町田文本店 (電話四十五番) 總支配人 中川喜七郎 主任 町田政太郎
同 本店向へ 町田書籍部 新聞雜誌 (電話四百卅一番) 主任 菅野武
京城本町三丁目 町田文支店 (電話一二六番) 主任 山本幸太郎
同 二丁目 文林堂 (電話百七十五番) 主任 未定
同 二丁目 文林堂內 用達部 新聞雜誌掛 主任 佐野勝次郎 (電話百七十五番)

右店員一同車輪の働きを以て勉强可仕候得不係多少御用命被下度奉懇願候
町田文次郎 川合市松 原善助 永井直次 井上貞次 古矢正三郎
營業主 町田文次郎

書籍文房具 新聞雜誌部擴張

弊堂と京城仁川に於ける日本人書店の開祖にして開業殆有九年の老舗なり今や日刊日本新聞紙京城のみ一千有餘雜誌一千有餘の配達數を算するの盛況を告げ益々繁忙を極むるの光榮ある今日あるを得たるもの各位の特別なる御引立と弊堂の正直と勉强の實を愛せらるゝの外ならざれば永く雜貨部の營業とするは愛顧諸君に忠實なる所故に無之候得ば今回本町三丁目平田書籍新聞雜誌部とを合併し專問的に營業益勉强可仕候得ば倍舊の御愛顧を蒙り度奉願上候也
本町二丁目三井物產向へ 文林堂 (電話百七十五番)

廣島市天滿町 海陸物產問屋 海外輸出商 吉野兄弟商會 商號吉野 主任 吉野伊三郎 電話五八八番 電信略號(ヨシイ)

廣島市天滿東詰 乾物 海產 內外鷄卵問屋 蒟蒻粉商 吉野支店 主任 吉野久次郎 電話三九〇番 電信略號(ヨシキ)

廣島市青物市場 海陸產物問屋 吉野出張所

韓國京城南大門通二丁目八番戶 海產物依托問屋 乾物罐詰 漬物類卸商 吉野支店 主任 吉野萬之助 電話七五七番 電信略號(ヨシマ)

京城新聞

農作の前途及其經營

暴徒蜂起以來地方の人民皆に安んせず、其農たると商たるとを問はず各稼業を放擲して他郷に避難したるもの尠からずと聞けり、地方の狀態斯の如くなれば本年の農作如何あらんとは一般に懸念せられたり、加之植付前に於ける天候が常に降雨少くして耆民能く移苗し得べきやを痛く懸念せり、然るに天は韓國の農業に輙して移苗に恰當なる雨量を降せり、而も待ち設けたるよりも以上の降雨あり、懸念せられたる植苗は幸に行はれたり、而して爾後亦時々降雨ありて經過の極めて良好なるは地方を巡遊するもの〻報ずる所なり、更に暴徒の農作に及ぼせる影響如何を調査するに無論大なる妨害ありと雖も、吾人が豫想したる所よりも大ならざるは甚だ喜ぶべき事なりとす、本年農作の概況斯の如くなれば、今後の天候順にして降雨割合に多く、暴徒の跋扈甚だしからざるに於ては平年以上の豐作たるべしといふ、未來の豐凶素より豫言すべからざるも、我精銳無比なる軍隊により暴徒は漸次掃滅し農作に妨害するの懸念を減じ今日の天候を以て未前を察するに由なきも經過より推して本年は將さに順ならんと思ける否其順ならんことを祈るものなり、

開發或は指導と其爲すべき事や多しと雖も何れも財力を要することにして現時の財力にては何等の施設も爲す能はず、此際に於て最も急を要するものは國本たる農業を獎勵することなり、然るに韓國の農業は更に振はず、若し夫れ其眞相を知らんと欲せば米穀の產地たる全羅忠淸の兩道に行脚して其耕作の實地を觀よ、日本に於ける最も遂部なる土地の農業と比較するも殆んど千年の差あるを思はしむ、其耕作に從ふ農夫等の悠長なるは驚くべきものあり、之を詩的に觀察すれば太古時代の人類なり、日本農夫の粒々辛苦額上より落つる瀧なす汗は貴金の價値ある事は到底韓の農夫に見るべからざるなり極端に之を批評すれば耕作の半は自然の力に俟つと云ふも可なり、

故に韓國の農業は之を奬勵するに於ては改良進歩の餘裕綽々たり、

韓國の農業を發展せしむるに於て最も急を要するは何人に聞くも灌漑の便を計る井水若しくは小川の供給是なり、灌漑の便なきを以て天候の順なるに係らず雨量の少き爲に凶作たるの例尠からず、河川なきに非ざるも平時は水流涸渇し降雨あれば忽ち氾濫して却て農作に害を與ふ、之れ堤防其他總ての設備不完全なるが爲なり、若し夫れ遠大の計を爲すに於ては森林の繁殖よりさせる可らざるも當面急務の問題として幾多小疏水の設備をなさゝる可らず、之を目躰的に述ぶれば彼のテキサス式を實行するにあり、而して之を施設すれば雨量によりての豐凶に懸念するを要せざるなり、聞く當局者亦此計畫ありと、吾人は一日も速に其施設を見んことを希望して止まざるなり、

●漢城便り

▲南阿戰爭の跡片付を引受けたるがバアナマン內閣に御座候日露戰役の跡仕末を托せられたるが西園寺內閣に御座候バアナマン氏死するもアスキス氏代りて今に尙自由黨內閣を維持し責務を盡し居候西園寺侯が戰後の始末を全ふせずして逃出したるに就ては同盟英國人の今後の思惑も如何わらんかといらざる事にも杞憂を抱かれ申候

▲鑛業條例は鑛業者の便を計るの目的を以て改正せられ來る八月一日より實施せらるゝとの事ゝ御座候本件に就き記者は曾て當局の注意を促がしたることありしが今に到て言甲斐ありとの感を有するものに御座候今後鑛業者諸君は言を鑛業條例の究屈に託して作業を怠り空樓屋と呼ばるゝを甘んせられざる樣勉められたきものに御座候

▲暴徒巨魁の所在は此頃に至り大低明瞭と相成たりとの事に御座候彼の許爲李康の外にも數多巨魁株の生擒は遠からずして行わるゝことゝ信じられ申候尤も是等の收獲が對暴徒策變更の給物たることは勿論の事と被存候

▲一時幅を利かしたる事ある玄暎運も遂に殁落の運命に達したる樣子に御座候僅々たる日本語の智識を資本と爲し世を欺き權勢を獲るが所謂日本通韓人の特技に御座候思ふに是種特技者の存在は韓民の殃に御座候記者は今に於て玄の亞流の全滅を希望するものに御座候

▲當地商業會議所の會頭として中村再造君當撰致され申候申すまでもなく會頭の責任は重且大なるものに御座候今後居留民の繁榮は君の働に俟つこと多きは勿論に御座候中村君たるもの首府の會頭たるの名譽に對し奮勵一番せられんことを囑望致候

東京電報

▲政務引繼協議

西園寺首相齋藤海相を除く外各大臣は今日首相邸に會し政務引繼手續を協議せり

▲西園寺總裁の注意

西園寺總裁は昨夜政友會の幹部に對し愼重の態度を採るべき旨を注意せり

▲西園寺總裁の宣言

西園寺總裁は不日全國黨員に對し宣言書を發すべし

▲首相の密使

西園寺首相の密使として伊藤統監を訪ひたる竹越與三郎は統監の意見を齎し歸り政友會幹部に對しては愼重の態度を保つべきを報告せりと

▲猶興會と政友會

尾崎行雄は政友會本部を訪ひ同會に對して憲政の功果を收むるため後繼內閣に反對せば吾同志議員二十名總べて入會せんと申込めり

▲貴族院議員勅選

山縣伊三郎貴族院議員に勅選せらる

▲廣東官憲の謝意

瀨川領事を經て東亞同文會其の他より義捐したる廣東水害救助費に對し同地の官憲より懇篤なる謝意を表せり

▲韓人工夫の暴行

福島縣にて岩越線工事に從事せる韓國人工夫三十名泥醉して通行人を亂打し民家に突入する等暴行をなし遂に官憲出張して十名を拘引せり（以上七日發）

▲桂、井兩侯の衝突

後繼內閣の顏觸れに就き桂侯は井上侯と衝突し井上侯は鎌倉に去りて歸らず桂侯大に狼狽す

▲兩相重任せず

陸海軍兩相は斷然重任せざる事に決す右は後繼內閣成立後陸海軍の既定計畫縮少せられ其の責任の地位に立つを懼るゝに依る

▲六月中の物價

の六月中の東京物價は前月に比し一分五厘五毛低落せり

▲牛津大學と日本文學

牛津大學委員會は同大學に日本文學の講座を設置する事に決す（以上八日發）

▲娘一人に婿八人

內閣組織に就き大臣候補者十八名わり圓滿を主とする桂侯も窮態に陷り居れり（八日發）

雜報

●伊藤統監歸朝期

伊藤統監は愈々本月十五日出發歸朝すべしと或確かなる筋より確聞す

●副統監參內の模樣

曾根副統監參內は昨報せしが七日午前十一時五十八分國分佐竹兩秘書官を隨へ昌德宮に參內皇帝に謁見せらる此際副統監は先づ我皇室より授けられたる韓國皇室の益々安寧に渉らせ給ふやの傳旨を陳奏せられ次に皇太子御勉學の模樣を奏し午後零時十分退出わり德壽宮に零時廿五分參內大皇帝に謁見右同樣陳奏あり一時退出せり

●統監送別會

伊藤統監近日歸朝せらるゝに付公の爲に居留地官民の發起に係る送別會を催さるべしとの事なり

●私立學校令の制定

韓國に於ける多數の私立學校を保護監督して其の健全なる發達を遂げしむるため學部は私立學校令を制定すべしとは既に報じたる處なるが愈々法案脫稿したるを以て目下同部に於て關係者一同審議研究中にして遠からず附屬法規と共に發布せらるべし

●各部の政務報告

伊藤統監近々歸朝に付各部は本年一月以來の政務の實績を報告する筈にて何れも報告書を調製中なり

●宮內府祭享の廢減

從來宮內府には全國各地に存在せる廟祠にして年々此れが祭享を行ひ其の回文通じて七十一回に及びために費す所の經費尠からざるが新宮內大臣は此の祭享回數を廢減して二百餘回となす意見にて一昨日統監邸に於ける大臣會議へ協議したる由にて同會議に於ても宮內府の意見に贊成したる趣きなれば遠からず決定せらるべし

●國有財產處分に關する訓令

國有不動產及び其の定着物の處分は國有財產管理規程の定むる所に從ひ勅裁を經て決すべきに拘らず地方官中往々此の規定に違ひて勝手に賣買貸與をなすものあり依て內部は今回地方官に對し右の處分をなさんとする場合は主務部に申請して管理規程の定むる處に從ふべき旨訓令を發せり

●漢城土木費追加の決定

既報漢城土木費五萬圓本年度豫算に追加の件は昨日の統監邸に於ける大臣會議にて決定したる趣きにて近々勅令を以て公布せられ江川浚泄其の他の土木工事に着手する筈なりと云ふ因みに此の工事は多年荒廢せる漢城內の土木を整頓するにあるも一面京城內多數の勞働者に職を授けて其の困乏を救ふの目的も有せりと聞く

●土地賣買禁止

水原利川間に於ける道路開鑿の爲め其用地收用を畢るまで龍仁郡邑內、西村面、枝內面、器谷面、東邊面、水余面、陽智郡邑內、朱西面、朱東面、利川郡邑內、戶面、長面、麻面等沿道に當る土地家屋の賣買、交換、讓渡、貸與、質入又は家屋墳墓の新設等を禁止したりと云ふ

●寧邊問題の落着

農商工部が寧邊附近の土地を作蠶事業のために日本人某に貸與したる事に關し同地方韓民不平を唱へ當局に向て貸地許可の取消を請求したる事は既報の如くなるが右は實地調査の結果借受たる日本人が區域內に存在せし已墾地をも貸地許可の內に含むさして取り込みたるため人民の不平を生じたる事を明にし而して農商工部の意思は初めより已墾地を含ませざるは勿論なるも契約書に其の旨を明記しあらざりしを以て今回左の條項を追加して本問題は落着せり

測定區域內に於ける本年以前の已墾地及び墓塚は本契約以前とす

●漢城衞生會事務の引繼

本年八月一日より京城龍山の汚物掃除其の他の衞生施設に着手すべき漢城衞生會の物品購入其の他準備の諸事務は從來便宜上此れを主として內部衞生局に於て取扱ひしが今回警視廳なる同會實行委員に於て取扱ふ事とし昨日其の事務引繼を了せり

●韓國自由港說

昨今一部の有力者間には烏港の自由閉鎖を期とし韓國の一開港場に一大自由區域を設け北韓南滿方面の開發を計るべしと主張するものあり田尻博士の大阪自由港論と相並び時節柄多少研究の價値あるべしと

●六月中の外國貿易額

本年六月中に於ける外國貿易額は輸出百四萬九百五十九圓輸入三百六萬千九百八十四圓にして一月よりの累計は輸出六百六十九千五百七圓輸入千八百八十九萬六千七百二十圓にして之を前年同期に比すれば輸出に於て四十八萬百十五圓を減じ輸入に於て二十四萬千百六十六圓の增加なり

●仁川上海貿易高

仁川上海の輸入貿易高は是迄明確ならざりしが此程南氏の調査せる所によれば昨年中十五回航海の輸入高約千九百屯本年六月末迄七回航海四千五百屯內外なりといふ

●地料低減請願

仁川公園地通りは元民團に於て埋築を施し入札を以て各市民に貸下げたるものなるが其後再三の火災に逢ひ加ふるに昨年來の不景氣の續いて各商店は日に減退するのみなるを以て各地附近一帶の各商店より現地料を半減されたき旨民團に請願する筈

●組合法規制定請願

韓國に於ける產業組合の實行を確實にせんには內地同樣之れに附する產業法規制律の必要あるは明かなる處ながら過般仁川に於ては幾多商事組合の同業組織を計りつゝあるにつき其筋へ法規發布の請願方各種組合より仁川商業會議所に建議し來り一二回役員會を開きたるも未だ遷延となり居りしが愈々新役員も決定したるを以て近々役員會を開き請願手續をなす筈なりと云ふ

●素倉新設に干する通牒

曩きに仁川商業會議所より鐵道管理局に向ひ貨物保護の爲め重要停車場に素倉新築の件照會せし所管理局に於て其必要を認め爾後着々新築に着手中なるが會議所は三月以降今日迄新築されたる素倉の數を同運輸長部に照會する所ありたり

●京商會議所役員決定

京城日本人商業會議所會頭及役員の撰擧は一昨夕同所樓上に於て施行せられたり欠席者市原盛宏、菅原大太郎、大島專藏、三浦茂三郎の四氏を除き他は悉く出席したるが開票の果結終に左の如き顏觸れを見るに至れり

會頭中村再造（十五票）副會頭曾我勉（十四票）商況調查委員林田金次郎（十一票）同委員池田長兵衞（十一票）會計委員增田三穗（十一票）同委員田中始一郎（十票）

●賊魁大半掃討さる

韓國暴徒の首魁と目すべきもの全國を通じて六十餘名あり互に氣脈を通じ一昨日稍々猖獗を極めしが討伐隊のため漸次勢力を失ひ許爲李康年閔肯鎬以下三十餘名の賊魁は或は軍隊に殪され或は憲兵隊に捕られ或は巡查隊に討たれ殘餘の首魁は何れも第二流に屬するものにて其の部下も少數にして殆んど强盜の類に過ぎず一面軍隊憲兵隊警察の配備も大いに完備せしを以て其の掃討し盡さるゝも近きに在るべしと云ふ

●咸鏡道の農作と暴徒

△惠山鎭の農作は賊徒の爲め何等被害影響する處なく各其堵に安んじ各其業務に從事せるも屢々賊徒の橫行出沒する地方農民の業務上に及す影響は多少免れざるも之が爲めに全く業務を廢し或は他に避難せるが如きは殆んど之なく昨今播種の季節に際しても一般農民の相競ふて之を了らんとする狀態にありて不穩の狀況を知らざるが如し而して一進會員の如きは一家擧て居村を離れ他に避難せるもの今尙尠からず現に惠山鎭に在る三水地方より一家族共に來住せるもの數名あり然れども之等避難者も各其業務に就き生活に困難なきが如し

△雄基地方は昨今播種耕作農民多忙を極め賊徒出沒に關しては是迄何等の影響を及すことなく安んじて其業に努めつゝあり又在留の日本人に於ても同樣業務に從事し何等影響せしことなし

△鏡城地方の農民の耕作上に及す影響に關しては賊徒の比較的平穩なる爲め耕作上に於て何等影響を受けず賊徒に付ては殆んど其破害なく偶々侵入したる朱乙社附近も近來は其風說を絕ち人民一同も殆んど暴徒の觀念なく安堵して耕作に從事せり（完）

●舍井の狀況

咸鏡南道舍井附近の住民は農を以て生業とし稀に商業に從事するものあり生活の度低く粟及燕麥を以て常食とす金融は槪して好況殊に同地は甲山より惠山鎭に通ずる道路上に位するを以て比較的日本銀貨の流通を見る而して地方人民は殆んど衞生に關する思想なきも古來より傳染病の流行したることなしと云ふ子弟の敎育は各村落に書房を設け習字或は漢文等を敎授す又此地は久しく守備隊の駐屯せしを以て善く日本人に親しみ憲兵分遣所新設に就ても歡迎せりと云ふ

●第五回警察懇話會

昨日午前八時より內部警務局に第五回警察懇話會を開催し松井局長以下局員一同列席し來京中なる釜山警察署長飯田警視の領事館警察時代より目下の日韓合同警察となりたる事に關し實務上の所感に就ての演說岩井警視の韓國警察に顧問部を置かれたる當時の執務の實際狀況の講話及び永田警視の南韓地方視察談等あり午前十一時半散會せり

●鷹匠侍從武官歸朝

駐剳文武官慰問の爲め派遣されたる鷹匠侍從武官は本日午前日高秘書官と同時に出發さるゝ筈なり

●日高秘書官の歸朝

一昨夜來京されたる宮內大臣秘書官日高秩父氏は同夜直ちに統監官邸に至り聖旨を傳へたる由にて本日午前出發歸朝の途に就かるゝと云ふ

●民團第二課長の兼勤

第二課長篤字太郞氏は第一課長を兼務せり

●民團吏員の辭職

京城民團屬渡邊喜市は依願八日解職せられたり

公人私人

△日高秩父（內大臣秘書官）　一昨夜着天眞樓へ

△中村敬直（大邱地方裁判所部長）　一昨日來京不知火旅館

△羽山謹吉（日韓貿易會社員）　釜山へ向ふ

●近事片々

▲新內閣の組織に就ては種々なる候補者を農商務に更に進では竹越三叉の文相等也

▲最も突飛なるは德川公を總理に長谷場現はる各其好む所に依て其人物を推選せり

▲斯る策法より進めば何人が候補に推されるやも知れず併下馬評は勝手御隨意に候

▲下馬評は如何にする共桂侯の首相たるは大勢既に定る如し唯閣僚の顏揃ひ如何耳

▲撰擇に最も困難なるは藏相に其人を得るにあり後藤曾根田尻添田等最も噂に上る

▲伊藤公統監を辭して樞院長たるの說益々高し果して眞ならば長白山翁隱然たらむ

▲此說無論虛傳ならむタローマー卿以上の偉大なる政策實行の抱負を抛つの筈なし

▲龍頭蛇尾は公の行動に往々ある事也と例を引て說くも片々はつや〳〵之を信せず

▲偉大の抱負ある公が故なく所信を捨てゝ閑地に就く如き事斷じて無からむと思ふ

▲食禪子曰く韓國は靑森より馬關迄位ありて幅廣しさう早く調査が出來る者かいと

▲逃る勿れ着々實行すれば可なりと例の樂天主義を振廻して新聞記者を烟に卷上る

▲閣下も長白山頭に埋骨の御覺悟やと問へば長白山は寒くて堪らぬ與平御免と云ふ

▲何事にも洒々落々として應酬し淸濁併吞する槪わるも總て之れ不得要領の權化也

▲不得要領の點に於ては西湖先生松田正久氏以上にして不得要領に垢拔したる所有

▲不言實行を標榜する丈け斷行の勇に富めることは感心韓國經營にも其實を示せよ

▲京城日報社長主筆の更迭と共に活氣紙上に橫溢し來れり將さに新下りの價値あり

▲筆先の銳利なる四方八面切捲るの槪あり幟に新手の驍將と見受けらる尙勉めよや

▲觀察論議總て韓國初旅の趣あり〳〵と現はる玆一年の後には多少の變化をなさん

▲新下りの新觀察は槪して斯の如きのみ幸に其氣銳を存續して漢城の論壇を賑せよ

▲朴泳孝の刑期滿ちて近に歸城せらるべしと今度些と愼みて小才を弄するを禁ぜよ

▲漢城政客殊に現閣臣等日本內閣の更迭の影響が余邊に迄波及するが痛く氣遣ふと

▲在野政客等の中には早くも桂派に好を通せんと頻に其手段を廻らす者さへありと

▲日本內閣更迭の爲に朝野の政客等皆浮腰になりて手に就かずさ之れ政權狂の本色

▲强慾非道の權化たる大坂の鬼櫻事木村權右衛門其寵妾に刺されて一命既に危しと

社告

今回京城新聞を創刊仕候趣意に付ては偏に讀者諸君の御諒察を仰ぎ候微力素より當らずと雖も諸君の御同情に答ふるの覺悟に御座候間何卒舊京城新報同樣御愛顧の程伏て願上候

追而舊京城新報社に關する債權債務其他殘務の一切は當方にて取扱申候に付左樣御承知相願申候

明治四十一年六月七日

京城西署西小門通

京城新聞社

●南山の自然主義

記者は其情話の餘りに面白さに男女の顔を見たしとの好奇心を起しその前ぶれとして聲一咳して先方の注意を促しぬ、されども情話は更に尾々として盡くる模樣なし、併し同じ事をさう長く聞くも却て罪なりとやら御輿を持上げてアーと大欠伸を唸りつゝ更に注意を促せば、如何に夢中の男女も之には氣がつきたりと見へ情話は頓に打消へぬ、記者それよりのそり〱と男女の前を通過して登り行きぬ、そも此男女は何者ぞ、男は廿四五の色白なる優さ男にして先づ丹次郎の標本と云ふべき見る人によりては氣障な男と評されそうなり、まづ腰辨の役人にして三十圓以下の鳥なるべし、女は標緻は余り良からねども、眼もと愛らしく人好きの仕さうな處あり、年は十八九乃至は廿歳位なるべし、役人ならば貳本筋あたりの令孃なるべし、惟ふに男女の關係はこの令孃が其俳優にも似つかはしき丹次郎に惚魂打込で二世も三世もかわらじと契りを結びたるも、段々逢ふ瀬の重なる毎に男の薄情と何か爲にする所ありての戀にて、神聖なる戀愛にあらざるを看破すると共に厭氣を生じ、且つ怖れを抱くに至り之を体よく打消し手を切るには日本に歸るに若かずと決心したるもの〻如し、然るに男の決心確く何處迄も附纒はんとする執念に尙更に恐怖しつ〻種々にすかしなだめるも、男はいつかな承知せず終には暴言を放ちてこの秘密なる情事を自ら曝露せんと威喝するに至りぬ、記者の大欠伸はこの際どき一刹那に放されたり、男女の狼狽はさこそと察しられぬ、この男女は抑も何たる心得違の人達ぞや

記者は更に自然主義の實劇を見ばやと彼處此處とさまよへど些も見當らず、最早前の一刹のみかと呻ちつ〻西方の茂れる樹間に涼を取らんと歩を移せば何ぞ圖らん、玆に亦もや其本躰こそ現はれけり、男は俱利伽羅紋々の勇み肌、年は三十四五ならんか男振りこそよからねど度胸の据て居そうな元氣者、女も三十四五かも少しふけて居るか彂んの姥櫻尙は色香失せずどこやらに愛嬌あふて仇つぽく、何れうれしや上りものとは見受けられぬ、男は女を眼下に見下してきり〻眼を釣上げ

「何だつてもう一遍言て見ろ、全体手前は己を何だと思ふ、假令別れて居ても亭主は亭主じやないか、其亭主を袖にして敢の土龍鬆に親切を盡す因念が判らねい、眞直に白狀しろ、次第によれば殺してやる、併し白狀は出來めい」

女は悔やしいと云ふ顔付にて

「お前さむ夫れは邪推と云ふものですよ、妾はお前さんを袖にするなんて余り馬鹿〱しくて語が言へないやね、積つてもご覧なさい、旦那にはお前さん始め妾までどんなに世話になつてるか知れやしないね、それを邪推して何だね」

此男女は惟ふに所謂共稼で男は何處かの馬車の馬丁か何かで、女は或る役人の所に下女奉公して居るが其役人に可愛がられる所より亭主殿頗に嫉妬の念に堪へざるより起りし一場の悲劇ならん（まだある）

●薫風南山の夢

△可憐少婦不知愁▽

梅雨もいつしか晴れ上りて炎帝威を逞うすれば此處漢京の大路小路は熱悶の巷と化して車夫は苦しみ、巡査は憊れ、商人は嘆ち斯くても尙汗と紅塵とに汲れ彼等は血眼になりつ〻營々奮闘を續くるなり、然るにても、さんざ松葉に風薫る南山の麓肉色壁の奥深きところ世にも隠れなき去る大頭顱御在しけるが此の大頭顱鼻垂れ小僧の昔しは知らず權勢一世に時めく今の境涯にありては兎角君子は將た英雄は必ず嗜好すべき色と酒とにかけては何の已れに之れ無くては夜が明け兼ぬる程の性癖あり、一時はダイ宰相ならぬパイ宰相と迄歌ひ噺されたることもあれど大功は小瑾を顧みずとばかりにて五月蠅き世間の口は衆盲の鼎を撫する程にも思し召されず此れが其處いらの庄屋の次男か何かならば又何とか意見の仕樣もあれど又コ禿げの大頭顱頗るに光ることなれば殿樣よ御前よと額を疊にすり付けて御脚の塵を拜むるはあり惶々と婀娜者を奉りて一夜の機嫌氣褄に己が福運まで取持たさするは數多けれど苦い事ならば氣の拔けたビールの唯の一滴爪の先きにて掬ふ程も献つる者無ければ大頭顱の性癖は彌募りに募るのみにて從來幷が犧牲に供されたる小羊哀れ數知れず、風教道義社會人道夫等の問題は悲しいかな大頭顱の腦味噌の隅くらの方に少さくなつて潛み居ることとなれば何の路傍の白菊が野牛に蹈みにじられた程にも憐れみを起こし賜へばこそ半折の紙に二三字ぬたくるにも尙叩頭百拜の禮を要する貴人乃公の竿の先きにて突つき廻はすは彼等小羊のみかは其の門戸に迄で光彩を增さしむる所以と曾ては白菊ならぬ光菊を捨て夫れから後も山川風月到る處浮名あり過ぐる卅九年世にも重荷を其の老軀と共に今の肉色壁の中に運び込みて以來も看護婦とやら小間使とやら表面殊勝氣の名もローヤルの香に消してヅランの香りは綠泉の亭に滿ち枕頭祖徠の薫衣は帷慇の華美に映じ大事役目の疲れとやらを癒やし賜ふに何不思議はあるべき筈なけれど此處に不思議は巴城館のれ蝶とやら云ふ少婦が一度び肉色壁の奥の間に晒づきまつりたる以來の氣儘にこそ（まだある）

●六月中の京城氣象

（京城測候所調査）

本月平均氣壓七百五十一耗五八前月に比し二耗九の低度を示し顯著なる低氣壓は通過三回ありて就中二十五日黃海より東北東に進行せし低氣壓は中心も淺薄にして風雨を伴ひ各地其影響を蒙れり氣溫は前月より五度九上昇し上中旬は順當に出で下旬に至り急昇せり又一日中の最大較差は四日の十六度四にして寒暖の差酷く風向は南西多かりしも下旬低氣壓の通過頻繁なりし爲め東風亦寡しとせず暴風は十八日及二十五日の兩日ありしのみ降水量は前月の約一倍半に當り又蒸發量は降水量の一倍半に當り降水十粍以上を量せしは十二日、十九日、二十五日、二十九日、の四日とす天氣は上旬晴天多く中下旬は曇又雨天勝を占め全月中一日も快晴なかりし

平均氣壓		七、五二五
溫度	平均	二〇、七
	最高	三二、四
	同	二十三日
	最低	一二、六
	同	八日
平均濕度		七六
降水量	合計	一〇七、一
	日最多	二八、七
	日	十八日
蒸發量（合計）		一六六、六
日照時數（百分率）		五七
風	平均速度	三、四
	最多風向	南西
	最大速度	二、二八
	最大方向	南々西
	日	十八日
天氣	雨	一〇
	雷	一
	快晴	〇
	曇天	一五
	濃霧	〇

（注）氣壓降水量蒸發量は「ミリメートル」氣溫は攝氏、風速度は平均一秒「メートル」を以て示す

●軍樂演奏

來る十二日午後七時より京城公園に於て陸軍々樂隊の演奏あり其曲目は左の如し

一 行進曲　レセプション（招待）　山本樂長　ヤマモト彌作

一 歌劇　ドンウシャン　モザー作

一 長唄　老松　軍樂隊作

一 ランサース　予ト俱ニ　永井樂長作

一 ヴワルス　世界一週　不詳

●新進實業家

雜誌商業世界の發行所として其の名高く又近來に於て商業字典の出版所として其の聲江湖に隠れなき東京の書肆同文館にては今回商業世界の臨時號として標題の如き冊子を發刊せり內容は日本六十餘州に於ける當今新進實業家の性情徑行及び少年時代なりの苦心慘憺の狀況を叙述し且つ之が平素より座右の銘となせる修身處世の金言を掲載せるが近來這種の冊子の汗牛棟充も啻ならざる中に於て確かに一異彩を放てるものと云ふべし尙し當地に於て一本を購はんとするものは本町日韓書房に就て取次を依賴さるべし因に同文館にては近來又々商業字典に次て工業字典を發行する由なり

●金鑛清人夫の無頼漢

平安南道溫井附近は平穩にして賊徒等は徘徊せざるも此所には金鑛數箇所あるを以て勞働者多數住居せり彼等は實に無賴の徒多く六月下旬局面立石洞の崔樂方に闖入し四名を毆打し約八百圓餘の物品を强奪せしことあり之等は右不賴の者の所爲ならんと云ふもの〻あり此金鑛は雲山郡北鎭、狩洞、大巖、克城洞にありて無賴漢最も多く集合しあり中には清人約八百三十名あり內約五百五十餘名は鑛夫及農夫なるも其他は無職者のみにして彼等は常に賭博を業とし不斷害毒を良民の間に流しつ〻あり而して賭博を開催するや百名以上二百名も集團して見張を立て玆に法網を免し居れり又常に拳銃を携行し不事に備へ居ると云ふさるから韓人は清人の一致團結を恐れ居れりと

●外人を笠に着る韓人

本町五丁目食料品商大上友太郎方店員小西千代藏は大上方の裏手なる佛國教會堂の境界にあるトタン屋根の上に衣類を干さんとし誤つてシャツ一枚を教會堂の地域內に落したるに之を見たる同會堂の雇韓人金興男(三十)は大に怒り不埒にも砂礫を取りて大上方の二階に投入しつ〻ありし際同店員淺野虎吉が多少韓語に通ずるより之を制止せんとしたるに金は益々怒り拳大の石を投げ付け同人の右手に擦過傷を負はしめたれば虎吉は階下に下り教會堂の裏門より入り再び制止をなさんとせしに金は同人を見るや傍らにありし四尺餘りの鐵棒を取り虎吉の頭部を目掛け打下したれば何かは堪るべき左右顱頂骨接際部の中央に於て堅に長さ一、五仙米突深さ一仙米突の打撲傷及び右手第三第四骨滑間筋膜の一部に深さ皮下に達する裂傷を負はせ疾病休業五日治療日數七日を要するに至らしめたり此樣を見たる大上友太郎方店員井崎清一、金子吾一の兩人は現場に馳付け毆打を續けんと金を押へ鐵棒を奪ひ本町巡査派出所に同行し訴へ出たるを以て南部警察署に引致し被害者は京城醫院に於て治療せしめ居れりと同教會堂の雇韓人にして屋主の西洋人なるを笠に着て本邦人に對し不都合を働くこと往々あり實に惡むべき韓人共と云ふべし

龍山榮町（電話三九番）

藥 田淵藥局

藥劑師 田淵芳太郎

●淫賣婦と黴毒

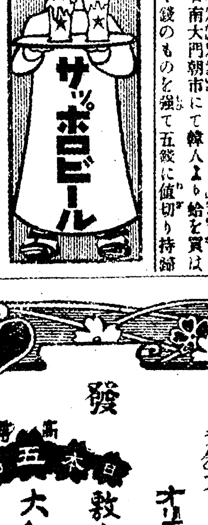
過日檢擧されたる長谷川町太平町の淫賣婦には其後南部署にて健康診斷を施したるに恐るべし受診者十三名中健康者は僅かに三名に過ぎず他は悉く有毒にして殊に宮崎ヒサ、三島とサ、土井せきの、赤星ふじの、安藤つちよの五名は正眞正銘の黴毒患者なりしとこれでも一夕の春夢を貪る世の痴漢に鼻のあるが不思議と云ふべし

●不良氷

西部楊華頭居住黃永春と云ふは其の筋の許可を經ずして氷庫を設け多數の不良氷を貯藏し麻浦住任平奉鉉、崔用成外十一名をして京城市內に販賣せしめたること發覺し販賣者と共に警察に召喚され嚴重に說諭を加へられたり

●飴と白銅一枚

泉町五十番地大辻巳年は一昨日南大門朝市にて韓人より飴を買はんとし十錢のものを强て五錢に値切り持歸らんとするを韓人が承知せず五月蠅く呼び立てたるに立腹し下駄を脱ぎて肩部を毆りたる爲め韓人から警察に引張り行かれ巡査さんから叱られて罷下る



●魚代のゴタ〱

京城旭町一丁目七十三番戸津留加得は一昨日朝まだき南大門通りの朝市にて韓人魚商裵作宅より鮮魚を買はんとしたるも値段の事にてゴタ〱を生じ遂に警察沙汰となりたる處魚代九十錢を支拂ふべき義務あるものとして散々お目玉頂戴

●厄介な狂人護送

福岡縣小倉市生れ清水健之助(三十)と云ふは窃盗放火狂と云ふ厄介な男なるが遂に一昨日南部署の警官を從ゑてシヅ〱郷里小倉に向ひたりと

●腸窒扶斯と天然痘

大和町二丁目統監府官舍加茂見治(四十)は一昨日腸窒扶斯に罹り大韓醫院に△同じく大和町二丁目一五八番地有本榮(三十)は天然痘に罹り青坡病院に送られたり

◎天氣豫報

（自八日午後六時至九日午後六時）

北又は東の風曇但少雨

八日午前六時各地氣象槪況

北又は東の風吹き木浦は雨天其他は槪ね曇天なり

廣告

大競爭大安賣廣告

從來當地に數十軒の同業者あるにも不拘直接內地へ注文する多々有之候是れ直段の點に於てのみ多少に差有之候へ共這般弊店は原料を各產地より直輸入し且つ和製品は弊店に於て尤も吟味精選したるものを調製し價格は殆んど破格の安直を以て大競爭大安賣致候條內地より御求め相成候ものより優に御德用に御座候何卒此際陸續御買求被下度願上候也

直段表

米國製銀判	一枚皮製	七圓
獨逸製銀判		
同ボックスキャフ	深ゴム靴	
同	編上ゲ靴	六圓五十錢
同	半長靴	拾圓
同	中長靴	拾貳圓
同	大長靴	拾四圓
牛裁	一枚皮製	五圓五十錢
ボックスキャフ	深ゴム	
同	編上ゲ	四圓九十錢
同	牛メリケン製	四圓五十錢
同	半長靴	六圓
ボックスキャフ	中長靴	七圓五十錢
同	大長靴	十圓
和キャフ	深ゴム	三圓
同	編上ゲ	三圓
同	半長靴	四圓
同	中長靴	四圓五拾錢
同	大長靴	六圓
白縮緬色	編上	五圓
ボックスキャフ		
同	短靴	三圓八十錢

尙地方より御注文被下候方へ郵送料當方にて支辨し着品御一覽の上御氣に召さゞる場合は代金返戻可仕候也

京城本町一丁目理事廳橫通

冨田製靴所

同　本町六丁目　富田支店

○土耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スポルト 各種

京城代理店 歐米雜貨商

京城本町六丁目

㊔ 岡野商店

●本石鹼ハ製造元ニ於テ外品ト對抗上母國同一ノ定價ヲ以テ需用者各位ニ販賣ス

●賣捌所ハ韓國到ル處ニアリ最寄ニテ講求ヲ乞フ

發賣

高等 日本五石鹼

オリエント石鹼　五十錢

敷島石鹼　三十錢

大和石鹼　二十錢

朝日石鹼　十五錢

○印は追て發賣す

家庭用 三石鹼

一號石鹼　十錢

二號石鹼　七錢

三號石鹼　五錢

山櫻石鹼　十錢

韓國全道一手特約店

韓國釜山幸町二丁目　齋藤第一支店

韓國京城本町三丁目　森久兵衛本店

大日本 稻葉石鹼製造所

農商務省檢定免許濟

丈量縄

說明書 定價表 見本贈呈ス

麻草製苧線入堅牢無比如何ナル霖雨ニ曝シ如何ナル旱天ニ乾スモ毫モ伸縮ノ憂ヒ無シ

眞鍮寄附釘止文字入間標付 美麗巻込器附

正條植縄 麻製鑑引毫モ伸縮ナク堅牢無比 標附 一間三錢

麻帶尺 竹尺 測量器 金帶尺 鐵尺 一切

熊本縣阿蘇郡黑川村 製造販賣 山本力太郎

月刊 朝鮮

毎月一回一日發行 定價廿錢 郵税一錢 一切前金

●京城本町二丁目 日韓書房●

夏季最良御菓子

紅葉山　クルミプル

泡雪　玉垂

松スワマ　葛饅頭

原料精撰

◯食パン

右御申込に依り毎日出來上りしもの配達可仕候

京城本町四丁目

和洋御菓子パン製造所 貞島事 寒水堂

電話一四一番

西の宮お樂の述懷（廿四）

◎新聞社へ●●●●●●●●●●●●●●り込む

何しろ夜のシラ〳〵明に仕度をして出掛けたのでムいますから起きて働いて居るものは奉公人ばかりでお客様は何方も未だお目醒にはなりません併し折角訪ねて來たものですから早いからといつて歸る譯には參りません、什麽かお取次をといつて上り口に佇んで居りますとまだ睡むさうな顔をしながら白粉のはげて居る女中が出て參りまして「大層お早くお出で……ソノお客様はまだナカ〳〵お目覺になりません……お起き遊ばしたらお通じ申しますが兎も角も此方で暫時お待ち下さいまし」と階子段際の六疊許りの室に案内をして呉れました、左樣彼れ是れ一時間も烟草をふかしながら待つて居ると障子を開けて矢ツ張先刻の女中が顔を見せ「お客様が只今お目覺で直ぐお遇ひ遊ばすとおつしやいますから什麽か此方へ……」といふソコで其の尾について階子段を登り尾崎さんのお室へ這入ると成程今お起きになつた許りと見ゑて揚枝を口にしながら「ヤアらく宜く來て呉れたの……然し馬鹿氣て早いぢやないか」とおつしやつて片笑みで入らつしやる下へお降りになつて顔をお洗ひになり寢卷のまゝ座蒲團の上にどつかりおすはりになる所へ別室にお泊りの加藤政之助さんが此れも寢卷姿のまゝ入らつしやつて「ヤア珍らしいお客が來たの……併しお前に此の仙臺で逢ふとは思はなんだよ東京を逃げ出す時一と言位は僕にだつて知らせて呉れても別段罰も當るまいに……イヤ隨分薄情な女だ……」と未ダ御挨拶もしない中に御冗談をおつしやるのでムいます、私は其の時染々とソウ思ひましたお馴染といふものは有り難いものだコンナ立派なお方にお成りなすつても矢張昔を忘れずに打ち解けて私風情のものをもとのやうにあしらつて下さるといふのは……と思はずホロリとしましたソコでいろ〳〵とお話に花を咲かせましたがソレは〳〵賑かな事でムいました、其中に土地の有志の方々がお見ゑになりましたから私は一と先づお暇をして我家に歸り其夜はお座敷の都合で尾崎さんにも加藤さんにもお目に掛らず遲く歸つて寢まして明る朝何氣なく新聞を見ますと尾崎さんの惡口がいろ〳〵と書いてあつて其末に尾崎さんが懇親會の歸り掛けに私に言葉を掛けた事を大層大袈裟に書いてあるのでムいます「尾崎行雄と當地のお樂とは東京以來の關係あり……」とか何とか七六ケ敷文句を並べて私が其宿屋に訪ねて行つた事迄輪に輪を掛けて嘘八百を書き立てゝあるのです、ナンボ反對の新聞だからといツてコンナ嘘がよく白々しく書けたものと私はグツと胸に來まして口惜くつて〳〵て堪らず、第一尾崎さんに濟まない譯と早速車を飛ばして其の新聞社へ怒鳴り込みました（つゞく）

中元御進物用品

●シャンパン ●葡萄酒 ●ブランデー ●ウヰスキー ●リキユール
●洋菓子 ●ビスケット ●ビール ●平ノ水 ●サイダー
●シガー ●埃及烟草 ●ビール化粧箱入 ●ビール切手 ●商品切手
●羽根蒲團 ●ハンカチーフ ●香水 ●石鹸 ●メリヤス類 ●其他雜貨

品色々取揃居り申候

京城本町三丁目（電話二十七番）龜屋商店
京城本町一丁目（電話八二七番）龜屋支店

大賣出廣告

正札より一割引ひき

開店祝七週年之爲平素御愛顧報大安賣仕候間陸續御來店之程伏て奉願上候

自六月廿日至七月十日

京城明治町一丁目　田中靴店

嶄新奇拔　新流行品

◎夏物大賣出し

歐米最新流行品
帽子　洋傘　空氣呼鈴

京城本町六丁目
雜貨商　中塚支店

◎正札より二割引

新築落成

本院儀豫て新築中の處今般工事落成に付從前の通り叮嚀親切に齒科全般の治療に從事す

●診察時間午前八時より午後五時迄

京城本町二丁目（五十八銀行横隣）
野田齒科專門醫院

▲

アサヒ　サッポロ　ピース

ビール大景品付賣出し

合同三週年紀念として弊社釀造各種の麥酒に對し來る十日より抽籤法を以て大々的景品附賣出仕候

大日本麥酒會社

▲

ピース　アサヒ　サッポロ

ビール大景品附賣出し

京仁販賣組合

第二回荷着

一蚊帳　一久留米絣
一綿類　一備后縞絣
一浴衣地　一布團地

珍柄種々アリ

京城明治町一丁目（電話二六一番）
卸商　唐川商店
龍山旭橋通　唐川支店

開業御披露

揚弓場

並に●コーヒー、紅茶●氷水其他一切

京城旭町三丁目　花遊亭

●内務省免許衛生試驗濟
滋養　補血
鐵冷鑛泉
驗効如神
●陸海軍赤十字社御用品
鑛泉は多少に不拘御用命に應じ可申候

入浴時間　自午前七時至午後十二時

京城本町一丁目郵便局前
鐵冷温泉

◎疊製造業並ニ表替

京城永樂町一丁目（赤門前）
横井疊製造所

法の上に眠る者は法律之を保護せず苟も法の擁護に依り權利の伸張を圖らんとする日韓人士は學識經驗兼備の斯業專門家に依囑して其實行を確保せられよ

營業要目

一、民刑商事非訟事件の鑑定
一、同上事件に關する書類の作成
一、登記申請證明查證願に關する書類の作成
一、會社銀行組合の定欵契約書類の立案
一、鑛山土地家屋の製圖測量
一、債權の取立讓受紛議の仲裁
一、個人團体法人の法律顧問

明治大學出身
增本好三郎事務所
京城本町壹丁目（電話六二四番）

齒科全般の治療

米國最新式義齒

米國齒科醫學博士　女醫　中村安子

京城本町六丁目（數そば横町）

開店御披露

會席御料理　にし喜

京城南山町一丁目

にしき特色
江戸自慢庖丁切味
江戸自慢江戸生粹藝者

四方各位益々御盛榮之段奉賀候弊店此度元湖月跡に於て開業致候間御愛顧御引立の上陸續御來駕之程伏而奉願候敬白

夏季飲料　ラムネ

警視廳御檢查濟

京城旭町二丁目
竹田林太郎製造
技師藥劑師　濱口源太郎
製造者　馬渡壽造

松丸太

薪　炭　各種

安價大販賣

京城南山町三丁目　川西商店
京義南川驛前　川西支店

和韓洋

會席御料理
並に仕出し

大和町軍司令部通
韓洋亭
電話六二九番

貸地

一龍山元平式院前軍司令部拾五間道路左側約五千坪

但し五十坪を一區として割貸

右將來多望の地貸附中度候條御希望の御方は左記へ御來談被下度候也

京城明治町一丁目　森村太郎
京城本町二丁目　林田金次郎

西洋洗濯
並ニ和服洗張
期日仕事　正確叮嚀

京城長谷川町一丁目卅一番戸
有田組

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨

漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店（電話二五一番）

檢查濟

氷卸販賣

益田氷庫

販賣所
旭町一丁目（電七四五番）
南山町擲翠樓前

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告（電話十番）

貨物及船客取扱店
仁川海岸通　郡回漕會（電話三九番）
京城南大門通　巴商店（電話三〇六番）

●釜山長崎門司神戸行　山東丸　八月二日　後一時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行　第一オハヨ號　月　日　後三時出
　釧路丸　月　日　後三時出
●大連、大沽、牛莊行　高砂丸　七月廿三日　後一時出
　山東丸　七月廿一日　前五時出
●大連、大沽、牛莊行　酒田丸　八月六日　後一時出
●鎭南浦行　第一オハヨー號　後三時出
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行　弘前丸　七月廿二日

注意
御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾參錢
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回四十錢　廣告五號活字十九字詰一行金五十錢▲特別

發行兼編輯人　秋山忠三郎
印刷人　高木久馬太
發行所　京城西署西小門通　京城新聞社　電話六六三番